

今回の栄養の特集では、腎不全の栄養に関する最新の情報にスポットを当て、病態から見た栄養量の設定からはじまり、各栄養素について執筆いただきました。糖質類・脂質（脂肪酸）・たんぱく質（アミノ酸）の三大栄養素に留まることなく、電解質や食物繊維、補酵素など多岐にわたって特集しました。しかし、この栄養学が実臨床で発揮できるようになるには、読者の皆様方が目の前にいる患者に何が有効な栄養素なのかを判別して実際に患者の体内に取り入れていただかないかぎり何も変わらないのです。どの栄養素を何から補給するのか、食品なのか薬品なのかを明確にする必要

があります。輸液や経管栄養は強制栄養であり患者自身の意向や思いは考慮されません。言い換えれば補給しやすいといっても過言ではありません。

同じエネルギー量の補給でも患者自身が自らの意思をもって経口摂取できれば、みるみるうちに栄養状態は改善できます。このような結果からしても可能なかぎり経口摂取を第一選択として食事からの栄養補給を促していただきたいと考えます。本特集がそのための一助となることを期待します。

市川和子
(本特集共同企画：齋藤かしこ)

2017年(Vol. 33)特集のご案内

- | | |
|---|-----------------------------------|
| No.① 開かれた透析医療
— Integrated Care の具現化 | No.⑦ 〔増刊号〕透析患者の侵襲性治療 |
| No.② CKD 貧血ガイドライン
— 二度の改訂を巡って | No.⑧ 予後改善を目指した透析医療 |
| No.③ 透析医療に携わる看護職の人材育成と
チーム創り | No.⑨ 透析医療における情報技術の進歩・展
開 |
| No.④ 透析患者の薬剤処方
— ポリファーマシーを考える〔特大号〕 | No.⑩ 維持透析患者の喪失感—理解・克服へ
の支援 |
| No.⑤ オンライン HDF—展開と課題 | No.⑪ 開かれた CKD 看護の模索—意思決定
を支援する |
| No.⑥ 創造する透析医療—新たな modality へ
の期待と課題〔特大号〕 | No.⑫ 透析患者向け治療食の最先端 |
| | No.⑬ 透析スタッフにとっての腎移植—直面
する臨床的課題 |

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.33 No.12

© 2017 年 11 月 10 日発行
定価：(本体 2,400 円＋税)

年間予約購読料は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.co.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center Inc. ©2017, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎ 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541